

☆第8回「ものづくり日本大賞」表彰部門について☆

製造・生産プロセス部門（内閣総理大臣賞、経済産業大臣賞ほか）

製造・生産工程における画期的なシステムや手法の開発・導入によって、生産の抜本的効率化などの生産革命を実現し、サービス・ソリューション提供等も含めた幅広い取組も交えながら新たな付加価値を創出した個人又はグループ。

製品・技術開発部門（内閣総理大臣賞、経済産業大臣賞ほか）

優れて画期的な製品若しくは部品や素材等の開発・実用化を実現し、サービス・ソリューション提供等も含めた幅広い取組も交えながら新たな付加価値を創出した個人又はグループ。

伝統技術の応用部門（内閣総理大臣賞、経済産業大臣賞ほか）

地域に根ざした文化的な技術や、熟練人材により受け継がれてきた伝統的な技術の工夫や応用によって、革新的・独創的な製品若しくは部品や素材、生産プロセス等の開発・実用化を実現し、サービス・ソリューション提供等も含めた幅広い取組も交えながら新たな付加価値を創出した個人又はグループ。

「Connected Industries—優れた連携」部門（経済産業大臣賞ほか）【新部門】

協調領域におけるデータ共有等を通じて機械、技術、人など様々なものをつなげることで、新たな付加価値の創出や課題解決を進めた個人又はグループ。

人材育成支援部門（経済産業大臣賞ほか）

第4次産業革命に対応するデジタル人材育成をはじめとした日本の将来のものづくり人材育成支援において、その活動が目覚ましいと認められる企業、NPO等。

※企業、NPO等は法人格を有する団体（学校を除く）とします。

※デジタル化対応の人材育成については、自社内の人材育成支援も応募可能です。ただし、自社内の人材育成を越えて、学生・社会人・他社の人材など広域に人材育成支援を行う企業・NPO等を特に評価します。